

つながる ひろがる

新潟産業人クラブ

かわらばん 2022年10月号 🌟

新潟産業人クラブ（先端技術研究会）

9月定時総会「新会長に長谷川直哉社長を選出」

新潟産業人クラブは9月14日、第39回定時総会を開き、マロト長谷川工作所（三条市）の長谷川直哉社長を2022—24年度の会長に決めた。21年度事業報告と収支決算、22年度事業計画と収支予算などの全議案も承認した。恒例の記念講演では、新潟県環境局の梅津了副局長が「新潟県2050カーボンゼロ戦略」を説明した。ホテル日航新潟に会員ら約40人が集まった。



長谷川会長は就任のあいさつで「現会員は70社ほどだが、3ケタにのせたい。“生きている会”であり続けるために不連続の連続で活性化したい」と力を込めた。人気テレビ番組の『徹子の部屋』や『笑っていいとも!』を引き合いに、「毎回、違うゲストを呼びたい」とも語った。異業種交流会としてのさらなる発展のため、会員各位の協力を求めた。役員人事も承認した会場は、新体制への期待と応援の拍手に包まれた。加藤義竹前会長（＝加藤研削工業〈新潟市東区〉社長）は、「直前会長」に就いた。

承認議案によると、22年度は収入1162万9298円、支出1017万4220円、次期繰越金145万5078円、積立預金156万6260円となる。また、役員について定めた会則第5条の今回の改定により、会長職の選考過程の透明化を一層図るとした。総会に続く記念講演では、4月新設の同県環境局の梅津了副局長が全県の脱炭素戦略について図表で解説した。地元産業界幹部の会員らに理解と協力を求めた。



懇親会は新潟県工業技術総合研究所（新潟市中央区）の佐藤健所長が「ますますの発展に乾杯！」と発声。新潟古町芸妓（ふるまちげいぎ）が新潟小唄など3曲を舞い、豪華な宴会が始まった。これには同ホテルを運営する栗山研一副会長（＝栗山米菓〈新潟市北区〉取締役）も「いつもは2曲なのですが」と驚いた様子。仄暗い照明と新型コロナウイルス

「懇親会では古町芸妓が舞を披露」



ス感染症対策のマスク効果もあって、ひととき妖艶な芸を一同で鑑賞した。

中締めにしたのは、新潟経済同友会の会合から「逃げてきた」というサトウ食品（新潟市東区）の佐藤功相談役会長。「総会で新会長が長谷川氏に決まったと聞いた。皆さんちゃんと人を見ているなという人選で感心している。84歳にして、ここで皆さんと話せるのはありがたい。ぜひ今以上の発展を」と述べ、直々の三本締めで無事に閉会した。



※梅津了環境局副局長ご講演の関連としまして、産業総合紙「日刊工業新聞」では、5月20日の全国版朝刊で、玉木有紀子局長のインタビューを掲載しております。この記事は弊社ECサイト「トレック」でもスポット閲覧できます。新潟県の環境政策にご興味をお持ちの会員様は、ぜひ玉木局長様のお考えなどご覧頂ければと思います。閲覧料は消費税込みの価格は550円からとなっています。

【掲載記事アドレス】

<https://trek.nikkan.co.jp/product/%E8%84%B1%E7%82%AD%E7%B4%A0-%E6%96%B0%E6%BD%9F%E3%81%8B%E3%82%89%E7%99%BA%E4%BF%A1-%E5%8F%B8%E4%BB%A4%E5%A1%94-%E7%92%B0%E5%A2%83%E5%B1%80-%E9%83%A8%E5%B1%80%E6%A8%AA%E6%96%AD%E3%81%A7%E6%8E%A8%E9%80%B2>

【10月例会（特別シンポジウム）のご案内】

10月例会は、10月17日13時半より、朱鷺メッセ(新潟市中央区万代島5-1)4階「マリンホール」におきまして日刊工業新聞社が事務局を務める「100年経営の会」と共催で「長寿企業に学ぶ持続可能な経営モデルとは」をテーマに特別シンポジウムとして開催致します。大阪府堺市で200年以上にわたり事業を継続するダイネツの葛村和正会長(堺市商工会議所会頭)のご講演の他、葛村会長、玉川堂の玉川基行社長、会員企業である高儀の高橋竜也社長によるパネルディスカッションを予定しています。今回の例会は、会員増強を図るため外部からも多くの方々にご来場頂きたいと考えておりますので、お知り合いの企業の皆様もお誘い合わせの上ご参加下さいませようよろしくお願い致します。

100年経営の会・新潟産業人クラブ特別シンポジウム

長寿企業に学ぶ 持続可能な経営モデルとは

**10月17日
13時30分～**

講演会 無料

近年、地政学的なリスクや資源調達、エネルギー価格の高騰や自然災害の多発など、企業を取り巻く環境は厳しさを増すばかりです。人材確保や働き方改革といった経営の舵取りにも一層の繊細さが求められています。

一方日本国内では、幾多の困難を乗り越え、100年以上の長きにわたり経営を継続する企業が3万以上にあるとされており、世界でも類を見ない長寿企業国となっています。

そこで日刊工業新聞社が事務局を務める100年経営の会と新潟産業人クラブでは、「長寿企業に学ぶ持続可能な経営モデルとは」をテーマに、特別シンポジウムを開催する運びとなりました。持続可能な発展を続ける上で欠かせない経営手法や、100年企業経営者によるパネルディスカッションなど、貴社の経営のヒントとなるシンポジウムとなりますので、ぜひご参加下さい。

共催 100年経営の会・新潟産業人クラブ・日刊工業新聞社
会場 朱鷺メッセ、ホテル日航新潟(新潟市中央区万代島)
講演会:朱鷺メッセ4F「マリンホール」
懇親会 ホテル日航新潟4F 宴会場「朱鷺」
申込方法 ネットもしくはFAX
参加費 講演会無料、懇親会7000円(当日会場で申し受けます)

お問い合わせ 新潟産業人クラブ事務局
新潟市中央区白山通1丁目614(白山ビル5F)
TEL025-265-2286 FAX025-233-6127

タイムスケジュール

13:30～14:00 100年経営の会の概要説明(仮)
株式会社ダイネツ代表取締役会長 葛村和正氏 講演
株式会社ダイネツ 代表取締役会長兼社長 葛村和正
1953年(昭和28年)大阪府堺市生まれ、1976年(昭和51年)関西大学工学部
金属工学科卒。同年河本精工株式会社入社。1984年(昭和59年)株式会社ダイ
ネツ 専務取締役を兼任。同年ダイネツ商事株式会社設立。翌年ダイネツ機械製
造株式会社設立。1991年(平成3年)父の遺志に伴い35歳の若さで代表取締役を就
任。現在も、単独会長兼専務、在野エコ共和国名誉専務理事兼専務、関西大学
理事、泉州金属処理工学部同級生会理事など、多数の団体役員の任務をこなす。
2017年(平成29年) 総経歴最長者。

14:00～15:00
15:00～15:20 質疑応答
15:20～15:30 休憩
15:30～16:30 100年企業パネルディスカッション (株)ダイネツ 葛村和正会長
(株)玉川堂 玉川基行社長
(株)高儀 高橋竜也社長
16:30～16:45 質疑応答
17:00～19:00 懇親交流会

会場アクセス

司会&コーディネーター 石濱里奈
東京OL時代、キャンベール(株)をキックオフイベント業界へ転身。数々の展示会やイベントでコンディショニングコーディネーターを継続しなが
ら自ら日本ボディエキスパートを創設。現在は、公益財団法人日本健康協会グ
ランチャンセルバディエキスパートをはじめ、武蔵野シンポジウム、学会など
の要員のほか、セッションやア
トリーナードなどイベントにも参加。自身を磨きながら、その活動中継
続を後援する企業も、経営者を中心に東芝はじめ企業各社へ活動の場
を広げ、近々では総経歴最長者
クラブメンバーの顔ぶれも揃う。

お申込み方法
下記の申込書に必要事項を記入
していただき、FAXしてください。
Webからもお申込みできます。
ご自身の二次利用(パーソナル)から
アクセスし、申込フォームには必
ず事項を入力後、送信してください。

新潟駅より徒歩15分、タクシーで5分 徒歩で20分
新潟空港から タクシーで20分、新潟自動車道新潟西ICから車で20分

シンポジウム「長寿企業に学ぶ持続可能な経営モデルとは」参加申込書
新潟産業人クラブ事務局宛 FAX 025-233-6127

お名前 フリガナ チェックして下さい
 勤務先 ご自宅 〒 講演会 交流会(参加費7000円)

ご住所 TEL FAX

勤務先 所属部署

E-mail

※当セミナーのお申込みの趣意や追加のご案内をさせていただきます場合があります。
※本申込み用紙に記載された個人情報(セミナーの参加名簿として管理し、その他の目的のために使用いたしません。定規的な取扱い、開示等を行っていただきますのでご了承ください。

事業予定

10月17日(月) 10月例会 ものづくり日本会議との特別例会
11月16日(水) 11月例会 秋竹 朋子氏 ビジネスヴォイストレーニング
12月13日(火) 12月例会 忘年会 行形亭(いきなりや) 18時より
1月17日(火) 1月例会 公安調査庁新潟公安事務所講演 新年会
2月15日(水) 2月例会 参与スピーチ
3月15日(水) 3月例会 会員企業見学
4月19日(水) 4月例会
5月17日(水) 5月例会
6月14日(水) 6月例会
7月19日(水) 7月例会

9月14日の役員会において、7月までの例会開催日程が決まりました。
会員の皆様におかれましては、どうぞご予定に入れておいてください。
☆かわらばんの掲載写真をご希望の際は、事務局へお気軽にご連絡ください。